

小学部 国語科 2 段階 A話す・聞<

単元名:「話を聞いてみよう」

Hさんの本時の評価規準（国語科 2 段階）

- ① 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類にふれている。
(知識・技能)
- ② 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句を結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしている。
(思考・判断・表現)
- ③ 身近な事物や事象、気持ちを表した言葉を聞き、いろいろなことが言葉で表せることを知り、自分なりに表現しようとしている。
(主体的に取り組む態度)

資質・能力を育むための指導のアイデア

【指導と評価の一体化】

教材

・探索行動:生徒が自ら調べようとする姿を引き出せるような環境の設定。

指導

・匂いや形など、五感に働きかけられるような教材を使う。

言葉

・分かっている、分かっているを見極められるような発問の工夫。

・動きを入れるなど音声と動きをセットにする。

・体験的な活動(経験)から語彙を増やしていく。

・視覚的に見えないからこそ、単元のつながりを意識する。

・教師の言葉から想起させ、生徒の言葉を教師が意味付けしていく。



単元構成

<単元研究会のあと…>

様々なアイデアをいただいた中で、特に「体験的な活動から語彙を増やす」という点を中心に指導していきたいです。言葉だけでは伝わらないことも多く、知っているようで知らなかった言葉(言葉では発することができるが意味が一致していない)も多く、言葉と言葉、言葉と事象など繋げていけるよう指導するとともに、「国語科」としての授業だけでなく、普段の生活においても、言語能力を意識しながら生徒と関わっていきたいと考えています。

